

⑤の質問について 企画調整課長の答弁

国においては東日本大震災の教訓をふまえ、2012年6月より大規模災害発生時には、被災自治体からの要請をまたずに国が緊急物資（食料、水、毛布など）を能動的に被災地に届ける「プッシュ型支援」が行われるようになりました。2024年1月、能登半島地震が発生した時、上記に基づき支援が行なわれました。本町においては、2024年11月に「垂井町災害時支援計画」をつくり、「物資支援」編・「人的支援」編を策定しました。

現在、国においては、2026年秋に司令塔的機能を果たす防災庁が設置される見込みです。

物価高騰対応支援事業

商品券 & ゴミ袋に決定

1. 1人、7000円の商品券を配布

- ・対象者 2026年3月31日時点で、垂井町に住民登録のある方
- ・配布方法 ゆうパックで世帯ごとにまとめて発送
- ・配布期間 5月25日から3週間程度で配布
(※家庭ごとに配布時期が異なります)
- ・使用期間 5月25日（月）から11月30日（月）まで

2. 町指定ごみ袋を無償配布

- ・配布数 全世帯に、「可燃ごみ用袋」と「プラごみ用袋」をそれぞれ10枚ずつ無償で配布
- ・配布方法 配布の「期間」と「場所」が書かれた葉書が届きます。葉書は引換券になります。
- ・配布時期 7月から配布の予定ですが、中東情勢により原料価格が高騰しているため、遅れることがあります。

民主垂井

日本共産党 垂井支部
発行責任者 小宅 宏
☎ 22-3753
2026年4月15日発行

2026年度（令和8年）

第1回定例会（3月議会）の報告

小宅 宏の一般質問①

高校生の

通学定期代に補助を！

昨年の12月議会では、新高校生の学習用タブレットについての保護者負担が増える問題を取り上げました。岐阜県の公立高校入試は、2018年度（平成30年度）から、全日制普通科の学区制を廃止し、全県1区制を導入しました。これにより居住地に関わらず、県内すべての高校を受験できるようになり高校選択の自由度が高まりました。保護者の



上のQRコードから一般質問を閲覧できます。

方の中から、「せっかく高校選択の自由度が高まったのに、家庭によって通学費負担の大小で選択肢が狭められることがあってはならない」という声も聞きます。

神戸町をはじめ、養老鉄道沿線の町が通学定期代の3分の1を補助しています。通学定期代に補助をしている近隣市町は神戸町、池田町、揖斐川町、大野町、輪之内町、海津市です。

本町におきましては、移住・定住の促進と子育て世代支援、公共交通の利用促進を図るため、ぜひ検討し

子育て推進課長の答弁

慎重に検討する課題であり、今後、調査・研究していきます。

小宅 宏の一般質問②

こども園の0歳～2歳児の保育料の無償化または、給食費の無償化の実現を！

2023年4月、早野町長は無投票で再選され、早野町政2期目をスタートされました。町長は2期目の施政方針演説の中で「子育てファーストタウン垂井」を掲げられ「こども園の0歳～2歳児の保育料の無償化または給食費の無償化にも取り組みたい」と元気に語られ、地元新聞にも、大きく取り上げられました。

私は、この実施時期を問うた一般質問を2023年の6月議会と2024年の12月議会で行いました。

町長からは「私の2期目の在任期間の中で、しかるべき時期に着手してまいりたい」（2023年6月議会）、子育て推進課長からは「実施時期につきましては、今後の町全体の事業施策を見据えながら慎重に着

町長の答弁

まずは、保護者の負担軽減と物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、町立こども園において、3歳以上児について、給食のご飯を町が提供します。0歳～2歳児の保育料の無償化または給食費の無償化は、27年において、慎重に検討していきます。



小宅 宏の一般質問③

公立小中学校の体育館に空調設置を急いでください

垂井町は、残念ながら西濃地域の市町村の中で、唯一、体育館に空調設置の計画を持っていません。26年度予算(案)をみると、他の西濃地域では次のように着々と進んでいます。

○関ヶ原町

小学校体育館空調設置工事に1億6022万円を計上

○養老町

東部町民体育館に26年5月末に設置完了を予定し1億4591万円を執行。高田中学校体育館に26年3月末に設置完了を予定し1億3509万円を執行 (P3に続く)

学校教育課長の答弁

- ① 学校施設の完全LED化は26年度中に完了です。
- ② 学校施設のトイレ完全洋式化は、現時点では確かな時期はお示しできませんが、27年度以降に町の財政と他の事業との調整をはかりながら、段階的に着手していきます。
- ③・④

将来の町の財政状況、財政負担の軽減をはかりながら、国の補助期限を見据え、トイレの洋式化と並行して段階的にできるよう引き続き調査・研究していきます。



り、ついに国が、来年度より小学校の給食費無償化を決めました。この流れを止めてはいけません。ブレずに「子育てファーストタウン垂井」の旗を高く掲げ、前に進みましょう。ぜひ、補正予算を組んで、こども園の給食費の無償化を実現してください。その決意があるかどうか、お尋ねします。

隣町、関ヶ原町は2026年度より、こども園の0歳～2歳児の保育料の無償化を決定しました。また約18億円を投じて子育て支援施設(26年6月1日に開所予定)を建設中です。

○神戸町

(P2からの続き)

24年、神戸小学校設置済み。
25年、下宮小学校設置済み。
26年、南平野小学校設置予定。
北小学校(設計委託)

○輪之内町

輪之内中学校の体育館に1億5532万円計上。27年以降、町内3カ所の小学校(福束、仁木、大藪)に設置予定

○安八町

26年、3小学校(名森・牧・大藪)に設置予定。27年、東龍中学校に設置予定。28年以降、東安中学校の総合体育館に設置予定

私は24年1月1日に能登半島地震が発生して以来、4回も、一般質問(24年3月議会、9月議会、25年3月議会、12月議会)を行い

以下5点の質問をします。

- ① 学校施設の完全LED化は何年に終了しますか?
- ② 学校施設のトイレの完全洋式化は何年に終了しますか?
- ③ 学校施設の完全LED化、トイレの完全洋式化が終了した後、ただちに、空調設置計画に取り組みますか?

(下段に続く)



ましたが、回答は、いつも「学校施設のLED化、トイレの洋式化・優先」で、全く無防備のままで放置されています。人の命を守るため、設置計画作成を緊急に急ぐべきです。

(上段からの続き)

- ④ 仮に設置に取り組む場合、国が半分、補助する期限は33年度までです。後、7年しかありませんが、対象校は9校あります。どうされますか?
- ⑤ 仮に空調設置がないまま、南海トラフ巨大地震が発生した場合、国や県に対して、どのような要望をされますか?

先の5点の質問に 具体的にお答えください。

